



キルギス国旗



ふらくむ通信

Project on Improvement of Human Resources in Food Laboratories for Improvement of Quality of Milk and Dairy Products(FLAQUM)

キルギス共和国乳品質向上のための食品検査人材育成プロジェクト

第6号 2022年9月

【プロジェクトのカウンターパート（技術協力対象機関）】

省名	部署/機関名（略称）	機能（役割）
経済商務省	技術規則・度量衡部	（プロジェクト実施責任）
	度量衡センター試験認証センター 食品検査所（CSM）	食品検査
保健省	疾病予防衛生疫学監督部 （DPSSSES）	食品検査、食品衛生監査
農業省	獣医衛生検査院（VS） 獣医診断検査センター（CVDE）	生乳・乳製品検査、獣医衛生監査

巻頭言

プロジェクトでは、日本人専門家がカウンターパート(C/P)のキルギス行政機関の技術者に対して検査所における食品検査の信頼性向上や食品工場における HACCP 監査能力向上のための技術移転をしています。現在、プロジェクトは第1期から第2期になり、C/P 自らが習得した技術を基に指導者として若手技術者や関係者への研修ができるように指導者養成研修（TOT: Training of Trainer)にむけた技術移転も併せて実施しています。これらの研修が、C/P の持続的な人材育成につながることを期待されます。

以下、今回の主なプロジェクト活動についてご紹介します。

1. 最近の主な活動トピック

1.1 乳製品加工工場への HACCP (TOT) 研修

HACCP 導入を検討しているビシュケク近郊の協力工場のスタッフに対して、TOT 研修の一環として C/P メンバーが講師となり HACCP7 原則を中心として研修を行いました。参加者のアンケートからは「研修で得た知識を製造プロセス改善に活用したい」、「3日間の研修では足りない」などの意見があり、HACCP 研修ニーズが高いことが確認されました。

CP 機関	保健省疾病予防衛生疫学監督部 (DPSSSES)	農業省獣医衛生検査院 (VS)
研修期間	2022 年 7 月 12 日～14 日 (3 日間)	2022 年 7 月 18 日～19 日 (2 日間)
オフィスでの研修状況		

1.2 保健省地方監査員への HACCP(TOT)研修

研修期間	2022 年 7 月 27 日～28 日
研修場所	保健省疾病予防衛生疫学監督部(DPSSSES)会議室
研修対象	DPSSSES チュイ州監査員 (18 名)

保健省衛生疫学監督部(DPSSSES)は、チュイ州における地方監査員育成のための研修計画があり、プロジェクトはプログラム策定と資料作成の支援をしました。この実践的な研修は、地方監査員の HACCP に関する知識習得と C/P メンバーによる主体的な研修実績を通じた講師としての能力育成に寄与したと思われまます。



リモート参加も含めての研修の実施



C/P メンバーが講師となり研修実施

1.3 獣医衛生検査院の地方監査員事務所への研修ニーズ調査

実施日時	2022 年 8 月 5 日 10:00 – 13:00
実施場所	イシク・アタ獣医衛生検査院地方事務所
実施内容	プロジェクト概要説明、監査員への研修ニーズ調査、HACCP の概要講義 農場及び工場監査の現状と研修ニーズに関する意見交換

獣医衛生検査院の地方事務所における HACCP 監査の研修ニーズ調査と今後の地方監査員のための研修プログラムの検討を行いました。「地方監査員が HACCP 研修を受けたことがない」「HACCP 研修は監査員だけでなく民間工場からの参加も必要」「農場への監査には飼養衛生管理など基礎レベルの研修が必要」など地方における研修の課題が判明しました。



HACCP 原則についての講義



HACCP 監査の研修ニーズ調査

1.4 JICA 経済開発部の運営指導調査実施について

調査期間	2022年6月24日～7月2日
調査団員	JICA 経済開発部 鈴木篤志氏

プロジェクトが第2期に入り、JICA 本部の担当職員がプロジェクトサイトを訪問して、現在までの活動や成果の達成見込み、実施上の課題などについて C/P からのヒアリングやラボ視察を踏まえて、今後のプロジェクト運営における指導や提言をおこないました。



JICA 本部の調査団員によるヒアリング



HACCP 活動について C/P からの説明



化学分析ラボの視察



C/P マネージャーとの合同会議

編集後記

この時期は曆的には初夏から初秋にあたります。キルギスの酪農家たちにとっては一年中で最も多忙な時期です。今の時期に、乾牧草やサイレージを調製して、放牧ができなくなる冬季のために貯蔵飼料を確保しておかなくてはなりません。下に紹介された酪農家は既に準備万端です。



高く積まれたアルファルファ乾牧草



バンカーサイロに調製された
トウモロコシサイレージ

(了)